

彙報（平成二十一年度）

〔委員会〕

書陵部委員会 平成二十二年三月十八日 開催（書陵部南会議室）

陵墓管理委員会議 平成二十一年六月二十二日 開催（書陵部南会議室）

同年十二月二・三日 開催（現地視察 奈良）

三 出版

（一）『コロタイプ複製 花園院宸記 卷二十七』一卷・解説一冊

三月十二日刊行（便利堂製作）

一〇〇部（五五部 思文閣出版市販）

（二）『図書寮叢刊 看聞日記 五』一冊 三月二十四日刊行

三五〇部（三〇〇部 明治書院市販）

（三）『書陵部紀要 第六十一号』・『同 陵墓篇』各一冊

（ 111 ）

〔図書課関係〕

一 収書

（一）購入図書

四部六五点

（二）寄贈図書

四部 九点

四 複本作成

（三）雑件取得図書

四部二六点

（一）マイクロ撮影

東山御文庫本

一三〇〇フィート

二 調査・整理

（一）九条家本

八六点

（二）筆耕

（二）有栖川宮本

二七六点

『行幸記』第十四・第十五・三槐抄』第一～第十一

（三）桂宮本

一二点

（国立歴史民俗博物館所蔵旧高松宮本）

六〇〇枚

（四）閑院宮本

一三二四点

五 小展示会

（五）新収本

二六九点

六 調査

（六）書陵部本蔵書印

六〇〇〇点

〔都内〕国文学研究資料館

五件

〔都外〕 京都御所東山御文庫 株式会社便利堂 京都府立総合資料館

〔四〕 古文書修補

龍谷大学図書館 神宮文庫

未整理本

一二七点 四八九二枚

七 図書・保存文書等

既整理本

三〇点 五二五五枚

(一) 図書

公文書製本

四六八点

閲覧

五六七人 八一九二点

その他

五九七点

複写

二六二件 七七五九点

八 組織変更

展示出品

一四件 三七点

平成二十二年四月一日付で、宮内公文書館と図書寮文庫を設置した。

掲載(含電子出版)

二〇七件

宮内公文書館においては、公文書の編集、保管及び一般の利用に関する事務をつかさどり、館長を置く。

映像使用(含番組提供)

六〇件

貴重書複製

七四九点

閲覧用ポジ作成

四〇一点

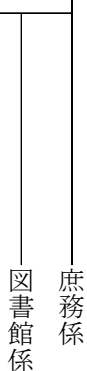
図書寮文庫においては、図書の保管、一般の利用及び複製に関する事務をつかさどり、文庫長を置く。

(二) 保存文書

〔図書課組織図〕 図書課

閲覧

一一一八件



複写

二三三件

掲載

六六件

貸出

二件

(三) 図書館

貸出

一三四〇七冊

購入

図書

一二六冊

非図書資料

八点

寄贈その他

図書

一〇六七冊

〔編修課関係〕

一 実録編修室

実録編修

1 昭和天皇実録編修

(二) 編修概要

当課では昭和天皇実録の編修事業を平成二年度より開始し、現在も継続してこれを行っている。本事業の終了は平成二十五年度の予定であり、平成二十一年度は本事業の第二十年目に相当する。

(二) 調査

〔都内〕 国立国会図書館憲政資料室、国立公文書館、外務省外交史料館、東京国立博物館、東京国立近代美術館、板橋区立郷土資料館、日台交流センターほか

〔都外〕 京都御所東山御文庫、京都府立総合資料館、日光田母沢御用邸記念公園、沼津御用邸記念公園、熱海市立図書館ほか

(三) 受入図書・資料

・刊本

九二冊

2 香淳皇后実録編修

(一) 編修概要

当課では香淳皇后実録の編修事業を平成二十年度より開始した。本事業は十二年計画で、平成三十一年度に終了する予定である。なお、併せて皇族実録の編修を続行している。

(二) 調査

〔都内〕 桜蔭学園ほか

(三) 受入図書・資料

・刊本

六五冊

・紙焼写真

四件

・マイクロフィルム

一件

二 皇室制度調査室

皇室制度史料編修

(一) 編修概要

当課では『皇室制度史料』の編修及び公刊事業を昭和五十二年より開始し、現在も継続してこれを行っている。現在は第三次編修事業（儀制編誕生・成年式）を遂行しているが、この編修事業は平成二十四年度に終了し、隔年に刊行を行う予定である。平成二十一年度には儀制編誕生四及び同編成年式三の編修を行った。

(二) 調査

〔都内〕 東京大学史料編纂所、国立国会図書館、国立公文書館、慶應義塾大学ほか

〔都外〕

京都御所東山御文庫、陽明文庫、京都大学附属図書館、京都大学総合博物館、立命館大学図書館、東大寺図書館、大和文華館、天理大学附属天理図書館、阪本龍門文庫、東北大学附属図書館、国立歴史民俗博物館ほか

(三) 受入図書・資料

・刊本

五三冊

・紙焼写真

九三件

三 小展示会

二件

〔陵墓課関係〕

一 陵墓保存工事等に伴う調査

平成二十一年度陵墓関係調査報告で触れたとおり、事前調査としては、小奈辺陵墓参考地整備工事に伴う調査を含め二件について実施した。立会調査と

しては、月輪陵墓監区神楽岡部事務所改築工事に伴い実施した調査を含め二二件について実施した。

二 現況図作成

小奈辺陵墓参考地

同参考地の整備工事に伴う事前調査とあわせ、同参考地の墳丘についてスケール二〇〇分の一、等高線間隔二〇cmの現況図を作成した。この測量図には、設定したトレンチや検出した埴輪列などの遺構についても記入している。

三 陵墓地形図作成

神功皇后狭城盾列池上陵

黄金塚陵墓参考地

右記、二件二箇所について、陵墓地形図の修正図を作成した。

四 出土品の調査・整理

(一) 新収出土品

一に挙げた調査等で、小奈辺陵墓参考地を中心に、一四二二一点が出土した。

(二) 金属製品の保存処理

榊山古墳 (馬形帯鉤・同付属環ほか)

衛門戸丸塚古墳 (鉄刀)

石仏ノ坪古墳 (銅製馬鈴)

円山陵墓参考地 (金銅製単鳳環頭把頭ほか)

入道塚陵墓参考地 (銅釵ほか)

右記の五箇所から出土した金属製品五三点について保存処理を実施した。

榊山、衛門戸丸塚、石仏ノ坪の各古墳の出土品は、戦前の旧諸陵寮時代に

所蔵品となり、書陵部に引き継がれた資料である。円山陵墓参考地は昭和二六年に、入道塚陵墓参考地は昭和三三年に、それぞれ故・小林行雄氏によって調査されており、今回保存処理を実施したのもその際出土したものである (本誌第五三号参照)。

(三) 土製品の保存修復

(河内) 白鳥陵出土円筒埴輪

百舌鳥陵墓参考地出土冢形・冢形埴輪

前者の円筒埴輪は、平成一三年度に実施した事前調査において第二六トレンチで検出した後円部第一段平坦面埴輪列中の三点である (本誌第五五号参照)。うち二点は底部が欠けた状態で樹立されていたため、修復にあたっては底部の復元を行わず、四方向に安定させるための台を設けることでその状態が理解できるように努めた。後者の冢形・冢形埴輪は、平成二〇年に実施した事前調査の際に南側造出と前方部との屈曲部に設定した第六トレンチから出土したものである (本誌第六一号「陵墓篇」参照)。修復後、冢形・冢形埴輪は平成二二年一〇〜一一月に三の丸尚蔵館で開催した特別展『皇室の文庫 書陵部の名品』において展示した。

五 墳丘調査

五十狭城入彦皇子墓

愛知県岡崎市に所在する同墓の墳丘を中心に、陵墓地内のほとんどについて、スケール一〇〇分の一、等高線間隔二五cmで平面図を作成した。成果報告は次号以降を予定している。

六 堂塔式陵墓の写真測量図作成

後桃園天皇女御尊称皇太后維子髮塔 (円丘・宝篋印塔)

光格天皇皇后欣子内親王髮塔（円丘・宝篋印塔）

和歌山県伊都郡高野町金剛峯寺奥の院の天皇皇族髮齒爪塔地に所在する右記の石塔二基について、スケール四分の一、等高線間隔を石塔で一cm、円丘で一〇cmとして平面図・立面図（正面・右側面）の計三面の写真測量図を作成した。

七 陵墓石造物の緊急保存処理

崇徳天皇白峯陵内「五重塔」（伝源為義供養塔）

同 （伝源為朝供養塔）

香川県坂出市の崇徳天皇白峯陵内に所在する二基の「五重塔」については平成一六年に保存処理を行ったところであるが、実施より五年が経過したために経過観察を行い、清掃・消毒・撥水処理等のメンテナンスを行った。引き続き管理には万全を期していきたい。

八 文献調査

奈良県立図書情報館において明治～昭和初期の陵墓関連公文書および竹口尚重著『陵墓志』の写本を、奈良県立橿原考古学研究所において末永雅雄関係資料のうち明治一三年の陪家調査関係資料の調査を実施した。

九 陵墓出土品関係資料調査

大阪府教育委員会（応神天皇恵我藻伏岡陵隣接地、五十瓊敷入彦命宇度墓、西陵古墳出土埴輪）、堺市（百舌鳥陵墓参考地隣接地出土埴輪）、岡山県古代吉備文化財センター（伝大吉備津彦命墓出土埴輪）、財団法人大阪市文化財協会（現・財団法人大阪博物館協会大阪文化財研究所）（伝手白香皇女衾田陵出土埴輪）の各機関において、陵墓出土品関係資料の調査を実施した。

一〇 陵籍・墓籍の編修

第九三代後伏見天皇墓籍として、博忠王、文秀女王、利子女王、邦彦王、邦芳王、鳩彦王妃允子内親王、能久親王妃富子、多嘉王、令子女王の九方について、墓籍の編修を行った。

一一 資料提供

（一）出土品

出陳は、継続として三件、新規として六件の申請があった。出陳先等のデータは表一のとおりである。

出陳のほかに、熟覧・実測・採拓・撮影に関して一二件、写真の掲載・画像の放映に関して三二件の利用があった。

（二）陵墓の現況写真ほか

掲載に関して九件の利用があった。

（三）地形図・石塔図・遺構遺物実測図・絵図ほか

掲載に関して八件の利用があった。

（四）歴史的資料

閲覧に関して二件、頒布に関して二件の利用があった。

一二 出版

以下の出版物を作成、配布した。

『考古資料の修復・複製・保存処理』（書陵部展示会図録） 一八〇〇部

（別途、株式会社学生社より 七〇〇部）

平成 21 年度貸付実績一覧

期 間	貸 付 先	展 覧 会 名 称	貸 付 資 料
通 年	東京国立博物館	平常陳列	奈良県大塚陵墓参考地：三角縁神獸鏡 5 点・素文縁直弧文鏡 1 点・鼈龍鏡 1 点・鍔形石製品 1 点・台座形石製品 1 点、奈良県宇和奈辺陵墓参考地旧陪冢ろ号：大鉄鋌 5 点・小鉄鋌 12 点、奈良県柳本大塚古墳：内行花文鏡 1 点、大阪府藤井寺陵墓参考地：銅製弓管 1 点、伝奈良県巢山古墳：鍔形石 2 点、岡山県榊山古墳：馬形帶鉤 2 点、千葉県祇園大塚山古墳：四仏四獸鏡 1 点
通 年	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	平常陳列	奈良県宇和奈辺陵墓参考地旧陪冢ろ号：大鉄鋌 3 点・小鉄鋌 4 点
通 年	鳥取市因幡万葉歴史館	展示なし（研究資料として貸出）	鳥取県宇倍野陵墓参考地：石塔部材 6 点
4 月 13 日～ 7 月 10 日	大阪府立近つ飛鳥博物館	平成 21 年度春季特別展 開館 15 周年記念「卑弥呼 死す、大いに冢をつくる —前方後円墳の成立—」	奈良県大市墓：特殊器台 8 点・特殊器台形埴輪 16 点・特殊壺 1 点・二重口縁壺形埴輪 1 点・二重口縁壺形埴輪レプリカ 1 点
6 月 22 日～ 9 月 11 日	群馬県立歴史博物館	第 86 回企画展・開館 30 周年記念展「国宝 武人 ハニワ、群馬に帰る！～ これが最後、東と西の埴 輪大集合～」	奈良県大市墓：二重口縁壺形埴輪 1 点、大阪府履中天皇陵：靱形埴輪 1 点、大阪府仁徳天皇陵：人物埴輪女子頭部レプリカ 1 点・馬形埴輪頭部 1 点・馬形埴輪胴部 1 点・犬形埴輪 1 点・水鳥形埴輪 1 点
9 月 7 日～ 11 月 20 日	堺市博物館	平成 21 年度秋季特別展 「仁徳陵古墳築造—百舌 鳥・古市古墳群からさぐ る—」	大阪府塚廻古墳：変形四獸鏡 1 点・変形五獸鏡 1 点・硬玉勾玉 1 点・碧玉勾玉 4 点・ガラス勾玉 1 点・滑石勾玉 1 点・緑色片岩棗玉 6 点・碧玉管玉 49 点・ガラス丸玉 375 点・ガラス小玉 1531 点・滑石白玉 684 点・木棺 1 点、大阪府藤井寺陵墓参考地：半三角縁二神四獸鏡 1 点・変形龍虎鏡 1 点・巴形銅器 7 点・石製鍔形欠 1 点・石製剣形欠 1 点・石製刀子 1 点・石製刀子残欠 1 点・車輪石残欠 2 点・銅製矢筈 4 点・滑石勾玉 28 点・滑石管玉 29 点・滑石小玉 42 点、大阪府履中天皇陵：家形埴輪 4 点・蓋形埴輪 2 点・靱形埴輪 1 点、大阪府仁徳天皇陵：円筒埴輪 7 点、大阪府応神天皇陵：朝顔形埴輪 1 点・家形埴輪 1 点・蓋形埴輪 2 点
10 月 27 日～ 12 月 3 日	東京国立博物館	御即位 20 年記念特別展「皇 室の名宝—日本美の華—」	石川県穴水町：御物石器 2 点、奈良県天理市：銅鐸（石上銅鐸 2 号） 1 点、奈良県佐味田宝塚古墳：家屋文鏡 1 点、奈良県大塚陵墓参考地：直弧文鏡 1 点・三角縁四神四獸鏡 1 点、奈良県佐味田貝吹古墳：三角縁三神二獸博山炉鏡 1 点、群馬県北山茶臼山古墳：三角縁龍虎鏡 1 点、大阪府仁徳天皇陵：埴輪女子頭部 1 点
1 月 12 日～ 3 月 25 日	大阪府立近つ飛鳥博物館	平成 21 年度冬季特別展 「ふたつの飛鳥の終末期古 墳—河内飛鳥と大和飛鳥 —」	奈良県畝傍陵墓参考地：須恵器 4 点、奈良県欽明天皇陵：須恵器 5 点、奈良県黄金塚陵墓参考地：石室石材 1 点
1 月 6 日～ 3 月 15 日	神戸市立博物館	特別展「海の回廊」	奈良県大塚陵墓参考地：帯金具レプリカ 14 点、奈良県宇和奈辺陵墓参考地旧陪冢ろ号：大鉄鋌 22 点・小鉄鋌 100 点・大鉄鋌レプリカ 11 個・鉄小刀子 25 点・鉄鋏先 10 点・鉄鎌 15 点・鉄斧頭 30 点・鍔形石製品 6 点・斧形石製品 1 点

〔新収本目録〕

平成二十一年四月から平成二十二年三月まで、当部において整理した和漢図書を収録。本紀要六十一号収書目録に続くものである。

宗教 員数 函 号

佛教

一二七 仏事

御八講次第 江戸期写(九) 一帖 九 一六四三

御八講次第 江戸期写(九) 一冊 九 五二六五

文学

和歌連歌

二二〇 総説 雑書

歌詞摘要 制詞 江戸末期写(有栖) 一冊 有栖 五一三二

二二二 勅撰集

新勅撰和歌集 藤原定家撰 室町後期写 一帖 一五四 六五二

二二三 家集

一条昭良詠草 後水尾天皇勅点 一条昭良詠 寛永八・八自筆 一卷 C 九 八

国基集 津守国基詠 室町前期写 一帖 一五四 六五一

三条西実隆詠草 天文三・八 伝二条為明筆

三条西実隆詠(天文三・八) 自筆(九) 一通 九 一〇〇七八

三条西実隆詠百首和歌 三条西実隆詠(享祿四)

典仁親王御短冊 典仁親王御詠 御筆原本(閑) 一卷 九 五〇六

高山朽葉集 高山正之詠 矢島行康編 明治写(有栖) 御筆原本(閑) 五一九枚 閑 三〇二三

頼阿百首 頼阿詠 延文三・正 明治三・八写(有栖) 清書原本(カ) 八冊 有栖 五二三三

直仁親王御短冊 附 近衛家熙口陳一通 真仁親王御短冊二枚 御筆他原本(閑) 一冊 有栖 五一四三

愛仁親王御短冊 愛仁親王御詠 御筆原本(閑) 九二枚 閑 三〇二二

庭田重具詠草 正親町天皇勅点 庭田重具詠 御筆原本(閑) 一〇一枚 閑 三〇二五

美仁親王御短冊 美仁親王御詠 天正一六・四自筆 一卷 C 九 九

職仁親王等御詠草 職仁親王・家仁親王他御詠 御筆原本(閑) 五九三枚 閑 三〇二四

寛延四年七月七日御会和歌 星河秋久 御筆原本(閑) 九点 閑 三〇二六

九条政基詠詩歌竝甘露寺親長宛書状 家仁親王・日野資枝等詠 江戸期写(有栖) 一冊 有栖 五一四二

九条政基詠 九条政基詠 自筆(九) 一通 九 一〇〇七六

二二四 撰集 御会

三条西実隆和歌懐紙 詠三首和歌 三条西実隆詠(大永四) 自筆(九) 一通 九 一〇〇七五

親鸞聖人五百五十回忌御勸進之和歌留 鷹司政熙・韶仁親王等詠 江戸末期写(有栖) 一冊 有栖 五一四一

名数和歌 江戸期写(有栖) 一冊 有栖 五一四〇

二二五 歌合

名数和歌 江戸期写(有栖) 一冊 有栖 五一四〇

名数和歌 江戸期写(有栖) 一冊 有栖 五一四〇

名数和歌 江戸期写(有栖) 一冊 有栖 五一四〇

名数和歌 江戸期写(有栖) 一冊 有栖 五一四〇

名数和歌 江戸期写(有栖) 一冊 有栖 五一四〇

名数和歌 江戸期写(有栖) 一冊 有栖 五一四〇

歌合 十卷本 卷第一 江戸末期写 一卷 B六 八三五

二二二 物語 説話集

源氏物語三箇秘事切紙等 九条幸家他筆(九) 七点 九 一六四〇

美術

書画

三二七 法帖 拓本 書譜 書札

長岡天満宮拜殿三十六首色紙形 江戸末期写(有栖) 一冊 有栖 五一四四

三一八 印譜 花押

藤貞幹摹古印譜 一名公私古印譜 藤原貞幹編 北村文石堂刊(有栖) 一冊 有栖 五一三四

諸芸

三七二 茶道

碾茶弁 大森直方(杖信) 撰 江戸期写(有栖) 一冊 有栖 五一三九

遠州流茶次第 江戸期写(有栖) 一冊 有栖 五一三八

茶の湯の事 江戸期写(有栖) 一冊 有栖 五一三七

歴史及伝記

日本史

四一三 雑史 実録

大日本史 紀伝 附入記目錄五枚(包紙入) 江戸末期版(有栖) 二四四冊 有栖 一〇〇三

大日本史 紀伝 附入記目錄七枚(包紙入) 文化ノ嘉永版 二四四冊 五五九 五四

校日本外史 頼襄著 明治九版(松平直方)(有栖) 一二冊 有栖 五一三一

日本外史 頼襄著 明治一三版(頼又次郎) 一二冊 五五九 五五

四一五 記録

後花園天皇遷幸記 永享二・一〇・二六 前欠

中原康富記

神鏡神璽自西海御入洛事 江戸期写(九) 一通 九 一〇〇八三

資時卿記和歌別記 自享保七年至同九年 享保九頃 自筆 一冊 一五三 二二八

四一六 古文書

泉召除目文書案 寛永五 江戸初期写(九) 三通 九 一〇〇八八

桂宮 一条兼香書状 一〇二 一条兼香記 自筆原本(桂) 二冊 F四 二一六

桂宮 勸修寺尹豊等書状 光豊 経広 顕道 勸修寺尹豊記 勸修寺光豊記 勸修寺経広記 勸修寺顕道記 自筆原本(桂) 一冊 F四 二一五

九条政基勘返不審条々 九条忠栄(幸家)写(九) 一卷 九 五〇七

桂宮 久世通式書状 久世通式記 自筆原本(桂) 一冊 F四 二一四

桂宮 元秀女王消息 一〇二 元秀女王御記 御筆原本(桂) 二冊 F四 二一九

桂宮 古澗慈稽書状 釈古澗慈稽記 自筆原本(桂) 一冊 F四 二二三

桂宮 酒井忠利等書状 忠勝 忠世 忠行 酒井忠利記 酒井忠勝記 酒井忠世記 酒井忠行記 自筆原本(桂) 一冊 F四 二一八

三条西実隆消息 九条政基宛 三条西実隆記 自筆(九) 一通 九 一〇〇七七

新上東門院御移徙関係文書 慶長六 慶長六(九) 一卷 九 五〇八

桂宮 富小路秀直書状 富小路秀直記 自筆原本(桂) 一冊 F四 二一七

桂宮 広幡忠幸書状 一〇三 合綴 広幡豊忠書状 自筆原本(桂) 三冊 F四 二二〇

伝記									
四三七 名鑑補任明鑑分限帳	九条兼孝写(九)	一冊	九	一六五〇	除髮次第 前欠	室町期写(九)	二枚	九	一六四五
撰関相統次第					新造内裏御遷幸供奉図 明暦元・一一 江戸初期写(九)	江戸初期写(九)	一卷	九	四〇七四
法律及政治					着袴例 建長六	江戸期写(九)	一通	九	一六四七
古代法制					天皇御読書始類聚等	九条尚実等筆(九)	一四點	九	一六四九
五一〇 概説 雜書					任大臣大饗雜事定文案 裏申文等	文曆二作(九)	一卷	九	五〇九
西宮記 恒例 正月 金沢文庫本	源高明著	鎌倉期写	一卷	五五三 二四	執事 近代例	江戸期写(九)	一冊	九	五二六八
五一三 法規					立后宣下雜々	江戸期写(九)	一九點	九	一六四八
内裏式 中卷		江戸前期写(九)	一冊	九	取祿作法并解劍事	室町期写(九)	一通	九	一〇〇八一
父母正忌日其人随神事例他		江戸期写(九)	三通	九	五一七 有職故実				
類聚三代格 卷五 卷十二		文永三・一〇写他	四卷	五五三 二二	寛政禁裡造営雜記 附 賢聖障子名臣冠服考証上下	江戸期写(有栖)	一冊	有栖	五一三六
五一四 官職 位階					玉葉拔書 隨身傍事	鎌倉期写(九)	一卷	九	四〇七三
職源抄聞書		九条兼孝写(九)	二枚	九	車立様事等	江戸期写(九)	一通	九	一〇〇八二
大臣直任例		九条忠栄(幸家)筆(九)	一通	九	皇女准后例 附 本願寺門跡事	室町期写(九)	一冊	九	一六四六
五一五 年中行事					后妃拾事	室町期写(九)	一冊	九	五二六一
北政所御節供次第 玉葉拔書		南北朝期写(九)	一通	九	御幸之間条々	江戸期写(九)	一冊	九	五二六二
公事根源抄出 八朔風俗事		室町末期写(九)	一枚	九	御献之事 応永二 首欠	江戸期写(九)	一卷	九	五一〇
諸国望掾事 慶長六 寛永五		江戸初期写(九)	一冊	九	三条中山口伝 第四	江戸期写(九)	一冊	九	五二六〇
春除目成柄 応永三二		応永三・三・二六原本(九)	一卷	九	調辞表有三様事	江戸期写(九)	一通	九	一〇〇八五
和歌御会次第		鎌倉期写(九)	一帖	九	新任弁官抄 前欠 藤原俊憲	建久四写	一卷	五五三	二三
和歌御会次第案		鎌倉期写(九)	一帖	九	龍鬢筵考	江戸期写(九)	一冊	九	一六五一
五一六 臨時儀式					理学				
御院号雜事		江戸中期写(九)	一冊	九	七三一 動物				

馬図

工学

七七四 建築

内裏造営并炎上勘例

江戸期写(彩色)(有栖)

一冊 有栖 五一三五

江戸期写(九)

二通 九 一〇〇八四

〔マイクロフィルム目録〕

東山御文庫本

(書 名)

(頁数) (函号)

(コマ数) (整理番号)

有栖川宮職仁親王御消息

三〇通

六四 七三〇

有栖川宮職仁親王御父子御消息

三三通

四九 七三〇

伊勢両宮御奉納太刀巻物覚書写

一通

三 七三〇

伊勢両宮御法楽和歌御下書

二通

六 七三〇

伊勢両宮祢宜等名代交名

一通

二 七三〇

石清水社御奉納覚書写

一通

三 七三〇

臼井雅胤神道伝授書留

一五点

四九 七三〇

正親町天皇宸記

二冊

六八 七三〇

御湯殿上日記御拔書

三三点

一五四 七三〇

御入記目録

一通

二 七三〇

御目録

二〇点

一〇〇 七三〇

額写目録

一折

一六 七三〇

春日社御祓筆者目録

一通

六 七三〇

春日社御奉納祓巻物筆者交名

一通

三 七三〇

春日社御法楽当座写

一綴

八 七三〇

鳥丸光荣請文並書状

九三通

一四五 七三〇

寛平御遺誠

一卷

一五 七三〇

公卿請文

一六通

二〇 七三〇

元文大嘗会御覽書	一通	六九二・	六	七四一	後桜町天皇御懷紙	明和元年	一八通	三〇七・	五〇	七三九
光嚴院御記	一冊	六七五・	一〇	七三八	後桜町天皇御懷紙	明和二年	二三通	一〇七・	六一	七三九
皇代御諡号	一綴	六九五・	九	七四一	後桜町天皇御懷紙	明和三年	二五通	一〇七・	六一	七三九
後宇多天皇宸記	一卷	六七六・	一五	七三九	後桜町天皇御懷紙	明和四年	一三通	一〇七・	六四	七三九
光德勝妙国師号勅書案	三通	一〇六四・	一三	七四三	後桜町天皇御懷紙	明和五年	一四通	一〇七・	四五	七三九
光明院御記	五冊	六七五・	一二九	七三六	後桜町天皇御懷紙	明和六年	一八通	一〇七・	四五	七三九
後円融院御記	三冊	六七五・	三九	七三六	後桜町天皇御懷紙	明和七年	一七通	一〇七・	五二	七四〇
後柏原天皇宸記	六冊	六七五・	一三五	七三六	後桜町天皇御懷紙	明和八年	二二通	一〇七・	六三	七四〇
古今伝授後御奉納用御短冊	一通	六九二・	三	七三〇	後桜町天皇御懷紙	安永元年	二四通	一〇七・	六三	七四〇
後小松天皇宸記	二冊	六七五・	二〇	七三八	後桜町天皇御懷紙	安永二年	一二通	一〇七・	五九	七四〇
後桜町天皇御伽羅銘案及御留	一通	六九二・	七	七三〇	後桜町天皇御懷紙	安永三年	二四通	一〇七・	六三	七四〇
後桜町天皇御懷紙	五通	一〇七・	一二	七三九	後桜町天皇御懷紙	安永四年	三二通	一〇七・	九六	七四〇
後桜町天皇御懷紙	四通	一〇七・	一四	七三九	後桜町天皇御懷紙		一七通	一〇七・	二一	七四〇
後桜町天皇御懷紙	六通	一〇七・	一二	七三九	後桜町天皇御懷紙		六通	一〇七・	一六	七四〇
後桜町天皇御懷紙	三通	一〇七・	七	七三九	後桜町天皇御懷紙	宝曆二年	二七通	一〇七・	五一	七四〇
後桜町天皇御懷紙	四通	一〇七・	一二	七三九	後桜町天皇御懷紙	宝曆三年	一二通	一〇七・	四〇	七四〇
後桜町天皇御懷紙	六通	一〇七・	一四	七三九	後桜町天皇御懷紙	宝曆四年	一六通	一〇七・	二七	七四一
後桜町天皇御懷紙	六通	一〇七・	一四	七三九	後桜町天皇御懷紙	宝曆五年	二二通	一〇七・	二六	七四一
後桜町天皇御懷紙	六通	一〇七・	一四	七三九	後桜町天皇御懷紙	宝曆六年	三五通	一〇七・	四二	七四一
後桜町天皇御懷紙	四通	九〇二・	一四	七三九	後桜町天皇御懷紙	宝曆七年	三五通	一〇七・	六九	七四一
後桜町天皇御懷紙	五通	一〇七・	一二	七三九	後桜町天皇御懷紙	宝曆八年	五四通	一〇七・	八五	七四一
後桜町天皇御懷紙	五通	一〇七・	一四	七三九	後桜町天皇御懷紙	宝曆九年	三一通	一〇七・	四六	七四一
後桜町天皇御懷紙	二通	一〇七・	一六	七三九	後桜町天皇御懷紙	宝曆一〇年	三三通	一〇七・	六二	七四一

後桜町天皇御詠草	宝曆二年	一二通	一〇八・一	一七	七四	桜町天皇御詠草	四四四通	一〇五・三	五五八	七四七
後桜町天皇御詠草	宝曆三年	三五通	一〇八・一	五九	七四	桜町天皇御消息並女房奉書案	一二通	六九・五	二〇	七三〇
後桜町天皇御詠草	明和元年	六九通	一〇八・一	八四	七四	三条西公福請文	一三通	六九・五	二二	七三〇
後桜町天皇御詠草	明和三年	一五一通	一〇八・一	二二六	七四	続日本紀	一卷	七・三	九	七四九
後桜町天皇御詠草等	宝曆二年	三〇通	一〇八・一	六七	七四	続日本後紀	一卷	六・一	四	七四九
後桜町天皇御詠草等	明和二年	八八通	一〇八・一	一三五	七四	諸社御奉納物御覺	一通	六九・九	三	七五〇
後桜町天皇御消息		二七通	六九・〇	九七	七五	神名御書付	一通	一五・二	三	七四八
後桜町天皇御消息案並御留		三通	六九・〇	七	七五	即位灌頂印明	二通	一〇六・四	八	七四三
後桜町天皇勅題御消息並職仁親王御請文		一〇通	六九・〇	二三	七五	即位灌頂等御覺書	一通	六九・五	四	七四一
後桜町天皇職仁親王御贈答等		九通	六九・〇	三一	七五	大嘗会国郡卜定次第	一綴	二	一二	七四一
後桜町天皇職仁親王御贈答等		一五通	六九・〇	二九	七五	辰巳悠紀節会並午日豊明節会之次第	三通	六九・五	一七	七四一
御短冊		一通	六九・九	三	七五	太上天皇尊号御報告次第	一通	一八・九	四	七三〇
後奈良天皇宸記		三冊	三三	八一	七三六	太上天皇尊号詔書	二通	一七・九	八	七三〇
後深草天皇宸記		一卷	六七・五	九	七三六	内侍所御法楽御当座写	一綴	六九・九	八	七三〇
後深草天皇宸記		一卷	六七・六	七	七三六	中御門天皇御懷紙	一〇五通	一〇四・一	二四一	七三四
後深草天皇宸記		一卷	六九・九	三	七三〇	中御門天皇御詠草	一二通	一〇四・二	一四	七三四
御奉納御祈祷等日時		一通	一五	四	七四三	中御門天皇御詠草	一六通	一〇四・二	一九	七三四
後桃園天皇御名字		一通	一〇六・四	四	七四三	中御門天皇御詠草	一六通	一〇四・二	二〇	七三四
後桃園天皇御名字字御花押		二通	一〇六・四	六	七四三	中御門天皇御詠草	一八通	一〇四・二	二二	七三四
後陽成天皇宸記		一冊	六七・五	一六	七三六	中御門天皇御詠草	一七通	一〇四・二	二一	七三四
桜町天皇御上包		一通	一〇五・三	五	七四七	中御門天皇御詠草	一七通	一〇四・二	二一	七三四
桜町天皇御堅詠草等	享保一四年	一二通	一〇五・三	一六	七四七	中御門天皇御詠草	一七通	一〇四・二	二一	七三四
桜町天皇御詠草		三四二通	一〇五・三	七五七	七四七					

中御門天皇御詠草	享保五年	一三通	一〇四三	二一	七四五	中御門天皇並靈元天皇御詠草	二〇通	一〇四三	二五	七四六
中御門天皇御詠草	享保六年	三四通	一〇四三	五二	七四五	女御以下和歌御添削御写	二冊	一〇六四	二六	七四四
中御門天皇御詠草	享保七年	二三通	一〇四三	二七	七四五					
中御門天皇御詠草	享保八年	二三通	一〇四三	三四	七四五	八幡御幸御記	一卷	六七六三	一一	七三六
中御門天皇御詠草	享保九年	二八通	一〇四三	三七	七四五	八幡御幸御記	一卷	六七六四	一六	七三六
中御門天皇御詠草	享保一〇年	一八通	一〇四三	二一	七四五	平野社御奉納諸色覚書写	一通	六九二九	二	七三〇
中御門天皇御詠草	享保一一年	一九通	一〇四三	二二	七四五					
中御門天皇御詠草	享保一二年	一二通	一〇四三	一四	七四五	每朝御拜先例書	一通	六九二五	五	七四一
中御門天皇御詠草	享保一三年	一八通	一〇四三	二〇	七四五	水無瀬殿靈驗記	一卷	六七六三	一九	七三六
中御門天皇御詠草	享保一四年	三一通	一〇四三	四三	七四五	桃園天皇御懷紙	一通	一〇六四	五	七四四
中御門天皇御詠草	享保一五年	一八通	一〇四三	二〇	七四五	桃園天皇御消息並御目錄御留書	二通	一〇六四	六	七四三
中御門天皇御詠草	享保一六年	二一通	一〇四三	二四	七四五	桃園天皇御消息並桜町天皇宸翰御目錄等	五通	一〇六四	八	七四三
中御門天皇御詠草	享保一七年	七通	一〇四三	九	七四五	桃園天皇御豎詠草並有栖川宮職仁親王御添削書	二通	一〇六三	八	七四三
中御門天皇御詠草	享保一八年	一一通	一〇四三	一六	七四五					
中御門天皇御詠草	享保一九年	二〇通	一〇四三	二八	七四五	桃園天皇御封	三通	一〇六四	九	七四三
中御門天皇御詠草	享保二〇年	一一通	一〇四三	二三	七四五	桃園天皇御詠草 宝曆六年	一三八通	一〇六三	一一〇	七四三
中御門天皇御詠草	元文元年	二七通	一〇四三	三八	七四五	桃園天皇御詠草	一七通	一〇六三	三六	七四三
中御門天皇御詠草	元文二年	一二通	一〇四三	二九	七四六	桃園天皇御詠草	一五四通	一〇六三	二二六	七四三
中御門天皇御詠草		五通	一〇四三	二五	七四六	桃園天皇古歌御懷紙	四二通	一〇六四	一〇六	七四四
中御門天皇御詠草		一四通	一〇四三	五二	七四六	桃園天皇古詩歌御懷紙	二通	一〇六四	六	七四四
中御門天皇御詠草並武者小路実陰御添削書		一八通	一〇四三	四二	七四六	桃園天皇御短冊 寛延元年	二通	一〇六一	五	七四二
中御門天皇三十首御統懷紙		一卷	一〇四三	一〇	七四四	桃園天皇百首御詠草等	四點	一〇六三	八七	七四三
			二四			桃園天皇百首御詠草	一通	一〇六一	四三	七四三

桃園天皇和漢朗詠集詩句御懷紙

一二通 一〇四

三四 七三四

東山御文庫別置本

靈元天皇御豎詠草

一通 九〇二

四 七四八

(書名)

(員数) (函号)

(コマ数) (整理番号)

靈元天皇御豎詠草並後水尾天皇御消息

二通 七〇三

五 七四八

生嶋隼人正伺書 慶応四年五月

一綴 一五三

九 七三三

靈元天皇御点取御製等

三卷 六〇二

一七 七四八

印鑑渡并返上等留 参与役所 慶応四年正月・二月

一冊 一五四七

七七 七三三

靈元天皇御製御留書

一綴 三〇二

八 七四八

延暦寺願書 慶応四年四月

一通 一五六

五 七三三

靈元天皇御詠草御留書

一冊 四〇二

二八 七四八

御字違ひの御うた

一通 一五七九

五 七三三

靈元天皇御懷紙等

六四通 一〇二

六〇 七四八

御触状留 慶応四年

一冊 一五四

一一二 七三三

靈元天皇御会始御豎詠草

一通 一〇二

六 七四八

漢学所御用掛備忘牒 明治二年五月

一冊 一五四

一〇一 七三五

靈元天皇御消息

一通 一〇三

七 七四八

旧幕府旗下元留守居支配大嶋喜八郎嘆願書

一通 一五六七

八 七三五

靈元天皇御詠草等

四五八通 一〇三

五一七 七四八

写 慶応四年閏四月・九月

一通 一五六七

八 七三五

靈元天皇御詠草並後西天皇御添削書

三点 三〇三

三三 七四八

光格天皇泉涌寺御寄納物目錄

四通 一五五四

一三 七三五

靈元天皇五十首御製

一卷 五〇二

一六 七四八

皇道興隆の御下問書 明治二年五月 版

一通 一五六三

六 七三五

靈元天皇後水尾天皇御賀御豎詠草

一通 八〇二

六 七四八

孝明天皇宣命案 文久元年五月泉涌寺四條院尊像遷座

一通 一五五

五 七三五

靈元天皇十首御点取御製等

二卷 四〇二

三三 七四八

宣命案

一通 一五五

五 七三五

靈元天皇内侍所御神楽御懷紙

一通 三〇二

五 七四八

高野山寺務夷賊退去四海太平御祈禱壇料請

一通 一五四

四 七三五

靈元天皇名号冠頭御懷紙

一通 二〇二

四 七四八

書 安政五年五月

一通 一五四

四 七三五

和歌三社法楽和歌

三卷 六九二

四三 七三〇

高野山總分方總代願書 慶応四年六月一九日

一綴 一五六四

八 七三五

和歌三社法楽和歌御組題

三通 六九二

五 七三〇

後七日御修法僧名注進状 安政七年正月一四日

一通 一五五〇

六 七三五

御布告留 大学校 明治二年一〇月

三冊 一五四〇

八〇 七三三

御布告并雜事仮控 大学校

一冊 一五四三

四五 七三五

御布告控 明治三年四月

一冊 一五四八

五六 七三五

異国船渡 来二付	海岸掛り御目附衆ヨリ阿部伊勢守殿直伺書面	嘉永七写 来島喜治	一冊	二五三 三三三	一五	三七	隆熙三・二一活版	一冊	三〇六 六七	一〇一	三八		
勸修寺家執奏之始書留	葉室頼胤宛 勸修寺高願	江戶期写	一冊	九一一	九	三三四	江戶末期写	一冊	二〇七 四六四	二四	三七六		
柏原御陵弁妄	谷森善臣	昭和一二写	一冊	一一九一	五〇	三六五	江戶中期写	一卷	一五〇 九二	二三	三八		
甲冑図解	伊勢貞丈	江戶期写	一冊	二〇九 一七五七	一九	三八一	元治度改元仗議参仕備忘	文久三 橋本実麗	自筆 一冊	三五三 七三八	一五	三七〇	
甲冑著用図	嘉永元版	一冊	一七五 二〇九	二二	三八	光格上皇崩御二付贈経並焼香願書	天保一一 积日暁	自筆 一卷	二〇三 八	五	三六一		
甲冑図	伊勢貞丈	江戶期写	一冊	一六二 三	一七	三八一	考抛雜録	山陵関係 第二、三冊	大正一五〇昭和二写	五冊の 内二冊	一〇九 五	四一	七八三
桂殿秋絶		江戶期写	一冊	F四 二	四	三三四	高宗大王洪陵誌	明治八	大正原拓	一冊	五一 一六	一八	三八
賀茂祭使色目	元禄七〇安政五	写	二冊	三五二	一六〇	三七	粉河寺縁起	(首欠) (裏) 說話断簡等 粉河寺統驗記	貞成親王御筆 宝徳四	一卷	伏 四七九	一〇一	三六六
賀茂臨時祭部類	柳原光愛	自筆	一冊	七九〇	四八	三六五	古今伝受資料	詠歌大本五字之大事 一名和歌伝五字之大事	平間長雅筆	一冊	B六 五六二	三八	三五四
唐菱浮文指貫勘物	附 紋様并裂地	江戶末期写	一冊	二六五 四二	二三	三六	護淨院日記	嘉永五 明治九	昭和四写	五冊	明 三五九	二八四	三六四
觀世能附	雪之部 附録	弘化二写	二冊	二六六 八〇一	一七七	三七	御壇料仮留		文久〇慶応写	五冊	明 三八六	一九五	三六四
韓聘瑣記	稿本 古賀樸	江戶末期写	二冊	二〇〇 一三二	一六三	三六	後土御門院御百首	内侍所御法樂	江戶期写	一冊	五〇 一	一三	三五四
翰林五鳳集	第二、第八	江戶期写	一冊	五〇六 三〇	七八一	三八二	御内書案并古文書	明応、応仁、永正 天文、永禄	松岡行義写	一冊	二〇 七	二三	三六
翰林五鳳集序		元和九自筆	一卷	一〇八 三	六	三九	御袍拝領記	安永九 広隆寺	写	一冊	二七 三	二八	三六五
議奏帳	文久三	明治写	一冊	二五三 一九〇	一六三	三三	申樂並四座系譜		嘉永四写	一冊	二六 六	二八	三七九
旧岩倉邸之図	明治十六、七行幸 大正八作図(臨帝)	一鋪	明 一三五八	四	三七九	考塩尻	天野信景	江戶末期写	二五冊	一〇〇 八三	二二 六四	二八	三七七
九曆		江戶末期写	一冊	二六六 六四七	三六	三五五	訂 寺社御撫物出入並修事御寄附物覚	文化 文政	江戶末期写	一冊	四一 三	一四	三六一
享保儲君御読書始	篠崎維章校 附 女御入内寢殿装束図(安永元)	文化一二写	一冊	一七五 五一〇	一九	三五四	斯波家譜	斯波義寛	写	一冊	二〇 七	二二	三七九
御璽官印譜		明治写	一冊	一六二 二四〇	八	三八			江戶末期写	一冊	一八 九	一四	三六一
御遊抄		安永三写	一冊	七二二	九九	三三三			写	一冊	八六 二	二二	三七九

喜多 仕舞并繪別伝書	嘉永三写	一冊	二六六	八一二	五〇	三七二	暁縁考 大塚嘉樹注	江戸末期写	一冊	二〇九	一九	三七六
准后新殿御造宮御用雜記 梅溪通善	昭和三写	一冊	明 五四五	七八	七六一	土山淡路守日記 寛政一二	寛政一二	原本	一冊	四一三	二二	七六一
順徳院御琵琶合 承久二	明治一二写	一冊	一六二	一三	七三四	帝陵求是 並河鳳来	並河鳳来	(並河総次郎本)	一冊	九一三	二四	七三四
新刊劉 河間傷寒直格	元版	二冊	四〇三	一〇六	七三四	天皇皇族実録 後二条天皇実録 凶書寮編	後二条天皇実録	昭六〇三活	二冊	五六五	一九四	七五五
尚書抄 一三卷	寛永元木活 (補写)	六冊	四五七	六三五	七六九	天皇皇族実録 花園天皇実録 凶書寮編	花園天皇実録	昭六〇三活	三冊	五六五	三六六	七五五
聖徳太子平氏伝雜勘文 法隆寺本	明治写	六冊	五五七	三五五	七六九	天皇皇族実録 後醍醐天皇実録 凶書寮編	後醍醐天皇実録	昭六〇三活	四冊	五六五	五〇五	七五六
親皇撰家諸家領 元和三	江戸初期写	一冊	二一七	五七	七六九	天皇皇族実録 後村上天皇実録 凶書寮編	後村上天皇実録	昭六〇三活	一冊	五六五	一六九	七三七
西忍流覚書	江戸期写	一冊	四六五	五四	七六九	天皇皇族実録 長慶天皇実録 凶書寮編	長慶天皇実録	昭六〇三活	一冊	五六五	四九	七三七
西忍流六脈伝並切紙口伝	宝曆五写	一冊	五五八	四一	七六九	天皇皇族実録 光厳天皇実録 凶書寮編	光厳天皇実録	昭六〇三活	三冊	五六五	三六八	七三六
对鷗莊見取図 明治六行幸	昭和三作図	一冊	一三六	七	七三九	天皇皇族実録 光明天皇実録 凶書寮編	光明天皇実録	昭六〇三活	二冊	五六五	三二〇	七三六
鷹受取渡之次第 祇津流	写	一冊	二〇七	二〇	七三七	天皇皇族実録 崇光天皇実録 凶書寮編	崇光天皇実録	昭六〇三活	一冊	五六五	一七三	七三九
鷹詞江戸卜出雲之相違書上 寺田城八	自筆	一冊	一六三	二四	七三七	天皇皇族実録 後光厳天皇実録 凶書寮編	後光厳天皇実録	昭六〇三活	三冊	五六五	四五八	七三九
鷹書 諏訪流 斎藤助左衛門	江戸末期写	一冊	一七三	三八	七三七	天皇皇族実録 後円融天皇実録 凶書寮編	後円融天皇実録	昭六〇三活	二冊	五六五	一九〇	七三六
鷹書 祇津流 屋代秀政	写	一冊	一〇三	三二	七三七	天皇皇族実録 後小松天皇実録 凶書寮編	後小松天皇実録	昭六〇三活	四冊	五六五	五四八	七三七
鷹司家邸宅取調届書 明治三 附家從拝借願(明治四)	原本	一冊	二六五	九	七三四	天皇皇族実録 称光天皇実録 凶書寮編	称光天皇実録	昭六〇三活	二冊	五六五	二四八	七三五
鷹司家拝礼家司記 天保一四	安政三写	一冊	六七五	九	七三四	天皇皇族実録 後花園天皇実録 凶書寮編	後花園天皇実録	昭六〇三活	六冊	五六五	七八六	七三五
鷹司殿拝領地武辺ヨリ引渡絵図 天保一五 原本	柳原光愛	一冊	三四七	一三	七三四	天明文政大祀本文和歌御屏風調進記	写	写	一冊	F一〇	一四	七三三
鷹司殿普請書付 文政一一	江戸末期写	八点	二六五	三九	七三四	増註唐賢絶句三体詩法	五山版	一冊	一冊	五五六	七〇	七三三
鷹司政熙関白辞職一件留 文化八	江戸末期写	一冊	二六六	一五	七三八	東照宮二百回忌法会僧交名并雑記	江戸末期写	一冊	一冊	二〇六	一四	七三九
高輪南町御用邸旧御殿外構之図 明治作(彩色)	一鋪	二一八	四四四	四	七三九	東福門院御凶事記 延宝六	大正一五写	一冊	一冊	三七六	二六	七三五
高輪南町御用邸建物之図 明治作	一鋪	二四八	四四二	四	七三九	読山陵外史徴按 谷森善臣	元治元写	一冊	一冊	谷 四五	六八	七三一

内侍所御法楽百首続歌 明応五 後土御門天皇等

江戸中期写 一冊 五〇二

長橋殿雜記 天保一〇、一三 勢多章武 自筆 一冊 二五二

日光山本地堂曼供役僧名 正徳五 正徳五写 一冊 三五二

仁孝天皇御即位御下行帳 文化一五 藤井総博写 一冊 三五二

仁王会文書 建長七、文永九 附 勘例 原本 三綴 壬 四二四

梅常両御殿樂御会留 安政二、元治元 写 一冊 鷹 五九四

八音抄 附 承久二年御琵琶合 葉室長順写 一冊 一三八

悲田方 一名 福田方 卷二三 有林 寛政三写 一冊 五五八

日野資枝公武御用雜記 安永九、一〇 自筆 二冊 二六五

標山供奉装束之事 土佐光貞写 一軸 一〇七

屏風古図聚 江戸末期写 一巻 C八 二七

琵琶合記 一名 承久二年御琵琶合 後鳥羽上皇勅判 一巻 伏 一〇三

琵琶合記 一名 承久二年御琵琶合 後鳥羽上皇勅判 一巻 伏 一〇三

福田方(有欠) 有林 文明一八、一九写 八冊 五五八

伏見桃山陵陵制説明書 大正元写 宮内省 一冊 一六八

文晁好古紀行 写 一冊 二五〇

文晁好古紀行 写 二冊 二五〇

放鷹記 秋山泰忠 江戸末期写 三冊 一六三

法隆寺執奏帳 弘化二、嘉永三 柳原家 原本 一冊 一四二

松岡家蔵書目録 江戸末期写 一冊 二〇六

松岡家蔵書目録 松岡明義

松島日記 写 一冊 二〇六

水無瀬宮御遠忌備忘 天保七 江戸末期写 一冊 一七五

明和度改元定記 宝曆一四 滋野井公麗 一名 公麗卿記別記 江戸期写 一冊 三五〇

輿車図考 松平定信 写 二冊 二〇九

略法華経 江戸末期写 一冊 二〇六

靈元院法皇御幸於当座当座和歌 享保一六 江戸中期写 一帖 四五七

歴朝待韓雜記 江戸末期写 三冊 二〇五

六帖題詠 富樫広隆 写 一冊 二六六

和歌題集 東山天皇宸筆カ 一冊 一五〇

脇坂安宅日記抄 弘化二、安政二 明治写 三冊 二五三

脇坂家書類 幕末 明治写 二冊 二五三

〔貴重書複製目録〕

飛鳥井家門弟許可及聞書類 (書名) (複製本数) (函号) (請求番号) 一冊 四五七

文仁親王消息 一冊 一五〇

伊勢物語闕疑抄 二冊 桂 一五〇

壹越調盤涉調太食調曲譜	一冊	伏一七六	朱二〇一	敬法門院六十御賀和歌	一冊	桂一四六	五〇八
壹越調平調黃鐘調曲等譜	一冊	伏一七七	朱二〇二	黃帝内經素問	六冊	五五八	四五五
一切経律部零卷十一種	二八冊	四一二七	一七三三	黃帝内經靈樞集	三冊	四〇三九	四七五
医方集略	六冊	五五八七九	四七〇三	合藥直伝集	一冊	五五八三七	一六三七
医林類証集要	一三冊	五五八二	四七〇四	御家道規則書	一冊	土二二	三九九〇
栄花物語抄	一冊	三五三二	四三九元	後柏原天皇宸翰	一冊	桂一〇一四	三六八九
永德行幸記	一冊	九二二〇	四九七四	古今御伝受和歌御会御記	一冊	四五七四	三九八三
江戸道すから歌	一冊	四五七七	五〇五	後水尾天皇二条亭行幸略次第	一冊	四五七九八	三九八四
大鏡	三冊	三五三三	四三三	金剛経纂要刊定記	二冊	四二二	一七〇
御鞠之記	一冊	四五七四	六四	金剛般若波羅蜜經會解	一冊	五五六一〇五	一七五
河海抄	一冊	四五七五	五四四	西宮記	一冊	五五三二四	四三五
甲子改元仗議一件	一冊	一七六一	三九七	西遊記	二〇冊	二二四	一七四
桂宮歌書目錄	一冊	三五三	一六七	貞建親王書状	一冊	桂一五二	三七〇
桂宮書籍目錄	一冊	四五六	一六〇	三因極一病証方論	七冊	四〇四二	四五三
桂和歌十二首	一冊	桂一四二	五四七	山居四要抜粹	一冊	五五八三一	六五
北山行幸記	一冊	三五三	四八一	三五要録	九冊	五五八七	朱〇〇
救急易方	一冊	四〇三	四七〇七	三五要録	七冊	九三一	朱九九
灸経	一冊	四〇三一	二〇八三	三五要録	一冊	伏一一七	朱九七
行幸之時殿上人束帶之書立	一冊	桂一六二	三九八七	三五要録	一冊	伏一一八	朱九八
京都府名勝撮影帖	一枚	B九三一	電子八	三五要略	一冊	伏一一六	朱九六
禁秘抄	一冊	一七六二	四三四	三位法眼家伝秘方	一冊	五五八三三	一六五
愚句老葉	二冊	桂六二	五三九	静岡県下洪水被害状況写真	一枚	B一一四	電子八
愚葉記目錄	一冊	九五六五	四九三	四分律刪繁補闕行事鈔科	一冊	四二二四	一七一

除目次第	一冊	一九五六四	四三六	諸国災害実況写真	一枚	B九 三三	葎字八
积金剛經纂要科分	一冊	四一二二	一七九	詞林采葉抄	一冊	三五三〇〇	四六四三
拾芥抄	四冊	五一五〇	六四四	鍼灸四種	一冊	四〇三〇六	二〇八二
修学院御幸宸記	一冊	桂 一四五	四九三	新任弁官抄	一冊	五五三三	四三六
蹴鞠歌抄	一冊	四五七	六八九	親王准后座次三ヶ条之事	一冊	桂 一〇三五	三六九
蹴鞠條々	一冊	四五七	六八六	水滸全伝	三二冊	二二四	一七四七
蹴鞠之條々大概	一冊	四五七	六七〇	蜻菴筆源氏桐壺拔書	一冊	桂 一五一	五四八
蹴鞠図	一冊	四五七	六八八	齊北之海並遼東之野ニ於ケル第二軍戦闘状勢写真帖	一枚	B一 八二	葎字八
蹴鞠八境図	一冊	四五七	六八二	世俗	一冊	桂 五三	五九四
蹴鞠略記并八境図	一冊	四五七	六九	撰家五流系図	一冊	桂 五二一	五〇八
入木道相伝条々聞書	一冊	桂 一三七	六四三	宗祇初字抄	一冊	桂 六三	五四〇
叙位除目關係雜文書類	一冊	九 一五六七	三七八	宗祇独吟千句	一冊	桂 六五	五四一
叙位略次第	一冊	九 五一二	四三七	続十首和歌	一冊	桂 一三五	五四六
傷寒活人書括図論	二冊	五五八 六九	四五四	続世繼	四冊	三五三 一七七	四三三
拯急遺方	一冊	四〇三 四〇	四七〇八	園塵	一冊	桂 五九	五九七
將軍上洛之節於二条亭御礼御座配書留	一冊	桂 八五四	三九五	素問入式運氣論奥	一冊	四〇三 八九	四七〇六
上卿故実	一冊	一七一 三二八	四三六	泰山府君祭神前供物記	一冊	土 一〇八	三九六
小兒豆疹經驗良方	一冊	二七六 三七一	四九三	大般若波羅蜜多經	一冊	四 二二六	一七三
紹巴独吟千句注	一冊	桂 五六	五九六	天曹地府御祭御日記	一冊	土 二五	四九五
紹巴独吟千句注	一冊	桂 六一	五九六	天曹地府御神事次第	一冊	土 二三	三九一
勝負御鞠之帳	一冊	四五七 一五二	六八七	天曹地府御神事次第	一冊	土 二四	三九二
諸家懷紙	二冊	有栖 五三	五四〇	天曹地府御用留日記	一冊	土 二七	四九七
諸国災害実況写真	一枚	B九 三三	葎字八	天曹地府祭一件	一冊	土 二八	三九三

天曹地府祭御神供經營覚	一冊 土 二九	三九四	百忌曆	一冊 土 一〇六	一六八
天曹地府祭御日記	二冊 土 二六	四七六	仏説聖最勝陀羅尼經	一冊 四一〇	一七五
徳川齊昭消息	一冊 鷹 七三八	三七六	仏説造塔延命功德經	一冊 五〇三	一七五
徳川齊昭書翰	一冊 鷹 六〇二	三七五	船橋家相統二関スル一件書類	一冊 一〇一八	三六〇
智忠親王旧蔵聞書鈔物等目録	一冊 桂 一三八	一六九	堀杏菴書状	一冊 一三六	三六九
智忠親王中務卿申文	一冊 桂 八五三	三六八	本朝女帝年譜	一冊 一三五	三七七
女院御所様よりの御文	一冊 桂 一三七一	三七八	翻訳名義集	四冊 四五一	四五九
女院御所帥局宛文並局よりの文	一冊 桂 一三六九	三七七	ます鏡	三冊 三五三	四三三
女房消息	一冊 桂 一〇七八	三九五	鞠口伝	一冊 四四七	六八〇
女房の名の事	一冊 桂 一一一八	三九六	鞠口伝	一冊 四四七	六八一
濃尾震災写真	一枚 B 一三四	四〇八	鞠場之図	一冊 四四七	六八一
後慈眼院殿雜筆断簡	一冊 一五六六	三九八	水鏡	一冊 三五三	四三〇
野宮定功御世話備忘	四冊 一一〇〇	三九九	水野家雜文書	一冊 四〇五	三七七
野宮定功公武御用記	八冊 二二〇八	四九〇	無字宝篋經	一冊 五〇三	一八五
野宮定功国事私記	一三冊 二二〇七	四九七	無量義經	一冊 五〇三	一八四
野宮定祥日記	六八冊 野 六	四九七	室町殿御祈日次並諸雜事等事	一冊 土 九三	三九五
白氏文集	一冊 五〇三	五〇三	名家古牘	一冊 一七三	三七四
八条宮諸家来翰	一冊 桂 一三七二	三七〇	明目神驗方	一冊 二七三	一六三
林道春書状	一冊 C 七	三七三	蒙求和歌	一冊 三五三	四四五
晴雄卿記	六冊 土 一	四三六	家仁親王一品宣下位記	一冊 一〇三六	三六九
光源氏物語内連歌付合	一冊 桂 五一	五九三	家仁親王御文控	一冊 一三一	三七〇
彦根城写真帖	一枚 B 九五	四〇八	家仁親王座右記	一冊 一四四	三九八
鞆婆沙論	一冊 五〇三	一八三	家仁親王消息	一冊 〇九七	三六六

家仁親王二品宣下位記	一冊	一桂	〇四一	三六四
穩仁親王八條宮へ御養君之節之文書	一冊	一桂	一四八	三七〇
山形県勝観撮影	一枚	B九	二七	電子八
用心抄	一冊	桂	六八	五四三
義経腰越状	一冊	一桂	〇三八	三六三
職仁親王書状	一冊	一桂	二〇七	三七〇
職仁親王書状	一冊	一桂	一四五	三七二
職仁親王書状	一冊	一桂	一四五	三七二
職仁親王家仁親王往返状	一冊	一桂	一四四	三七〇
劉子	三冊	五〇二	四一一	二〇八
両漢通俗演義	八冊	二一三	一六八	一七五
良尚親王書状	一冊	一桂	一三八	三七〇
良恕親王消息	一冊	一桂	一三五	三七〇
良恕親王書状	一冊	一桂	一三〇	三七〇
類聚三代格	五冊	一七一	三二七	四三五
類聚三代格	四冊	五五三	二二二	朱二五
連歌至宝集	一冊	桂	六六	五四〇
連歌書目	一冊	三五三	五	一六八
連歌の心得	一冊	桂	五五	五九五
論語	三冊	四〇一	二七	朱五四
和漢朗詠集	一冊	五〇三	一六七	朱五三